

不退転

第7号
東江中学校
校長 神元 勉

年度当初の学校支援訪問

14日(金)、「国頭教育事務所指導主事等が学校を訪問し、意見交換等を通して、各学校における学力向上推進の取組の成果や課題を共有し、具体的に実効性のある支援を行う。」ことを趣旨に、年度当初の国頭教育事務所学校支援訪問がありました。
意見交換では、次の取組について、高い評価を頂きました。

- ① 「チーム東江」による同僚性
- ② 生徒会、専門委員会と連動した学級組織「東江中学級組織 統一事項」
- ③ 生徒会の「立腰・黙想」「黙動清掃」
- ④ 不登校生徒の半減

早くも授業研究会行う

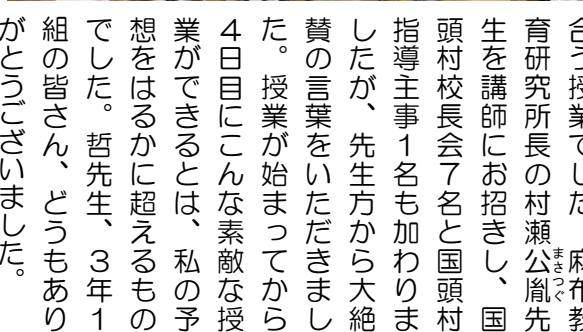
14日(金)の5校時に、第1多目的教室において、「新任職員に東江中学校の『学びのスタイル』をイメージしてもらうとともに、旧職員に再確認の場を提供する」事を目的に、末吉哲先生が、3年1組の数学「多項式の展開」の授業を公開しました。

本時のねらいは、次の2つです。
① 多項式×多項式の計算(展開)のやり方を長方形の面積を利用して気づくことができる。

② 項や多項式の積が増えても展開することができる。

誰一人も「学び」から逃避する生徒はなく、全員が楽しそうに、真剣に、脳に汗をかきながら、学び合う授業でした。麻布教育研究所長の村瀬公胤先生を講師にお招きし、国頭村校長会7名と国頭村指導主事1名も加わりましたが、先生方から大絶賛の言葉をいただきました。授業が始まってから4日目にこんな素敵な授業ができるのは、私の予想をはるかに超えるものでした。哲先生、3年1組の皆さん、どうもありがとうございました。

授業後のリフレクションでは、全員が割り当てられたグループの「学びの姿」を語り合い、最後に村瀬先生から指導・助言をいただき、大変、有意義な授業研究会でした。皆さん、お疲れ様でした。



春に

谷川俊太郎

この気もちはなんだろう
 目に見えないエネルギーの流れが
 大地からあしのうらさを伝わって
 多くの腹へ胸へそうしてのどへ
 声にならないさけびとなってこみあげる
 この気もちはなんだろう
 枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく
 よろこびだ しかしかなしみでもある
 いらだちだ しかもやすらぎがある
 あこがれだ そしていかりがかくれている
 心のダムにせきとめられ
 よどみ渦まきせめぎあい
 いまあふれようとする
 この気もちはなんだろう
 あの空の青に手をひたしたい
 まだ会ったことのないすべての人と
 会ってみたい話してみたい
 あしたとあさってが一度にくるといい
 ぼくはもどかしい
 地平線のかなたへと歩きつづけたい
 そのくせこの草の上でじっとしていたい
 大声でだれかを呼びたい
 そのくせひとりで黙っていたい
 この気もちはなんだろう



この人、誰？

最近、実家(うるま市石川)へ帰ったら、懐かしいものを発見しました。昭和59年大宮小学校で理科専科の補充教諭をしていた頃の33年前の写真です。まだ、髪もふさふさしています。



学力調査

18日(火)、3年生は全国学力・学習状況調査、1・2年生は、名護市学力調査を行いました。

最後まで諦めず、問題にチャレンジできたでしょうか？

毎年、県平均との差を縮めています。今回はどうでしょうか？

中 経 報 時 間 2017年(平成29年)4月1日 土曜日 地 域 24



比屋根 美空さん(12) = 右
 石嶺 芽依さん(11)



沖縄初の瓦「宝物に」

見慣れた家の歴史に驚き

沖縄で初めてセメント瓦をふいた家の取り壊し作業を目の当たりにした東江小6年生。「初代博物館長さんから、この家は赤瓦からセメント瓦にした沖縄で最初の家だと聞いて驚いた」と比屋根さん。石嶺さんは「いつも通る道だけどここんなに古い家だったなんてびっくりしました」と感激した様子の2人。

「私はこれにしよう」「これは玄関に置き、一つは私の宝物にする」と瓦のかげらを手に将来は保育士になって、子どもたちになくさんの思い出をつくらせたい」と2人の同じ夢は膨らむ。(名護・玉城学通信員)

沖縄 SHIMANA TIMES
 タイムス
 2017年4月1日 土曜日
 〒901-8501 名護市名護1-1-1
 電話: 098-860-3000
 FAX: 098-860-3663

しましまプラス
 トピックス

